

# 講義概要

【講師】 福島大学教授 共生システム理工学類 <sup>くろさわ</sup> 黒沢 <sup>たかひで</sup> 高秀 氏

【特別講師】 千葉大学名誉教授 <sup>ふじい</sup> 藤井 <sup>えいじろう</sup> 英二郎 氏 (第2回のみ)

國學院大學名誉教授 <sup>たかしお</sup> 高塩 <sup>ひろし</sup> 博 氏 (第5回のみ)

## 第1回 7月26日(土) 南湖公園と松平定信公の基礎知識

南湖公園やこれをつくった松平定信公という、どの様なことを思い浮かべるでしょうか。南湖学の第1回として、南湖公園と松平定信公の基礎的なことについてお話しします。

## 第2回 8月23日(土) 南湖公園の造園的特徴

古墳時代から江戸時代に至るまで日本には多様な庭園が展開してきました。その歴史と特徴を振り返りながら、松平定信公によって造営された南湖公園がどのような特徴をもっているか、解説します。

## 第3回 9月6日(土) 南湖公園の景観の時代変化

南湖公園は造成後220年あまりの間、変わらぬ美しい景観を保っています。一方、特に戦後に急激に変わってしまった部分もあります。絵図や古写真などを手がかりに探ってゆきます。

## 第4回 10月19日(日) 南湖公園の生物多様性

南湖公園は松平定信公がつくった、まさにビオトープ。南湖公園での現地学習を行い、希少な植物を中心に多様な生物を紹介します。

## 第5回 11月29日(土) 南湖公園にみる普遍的思想「士民共楽」と「太平無事」

松平定信公は、武士階級だけでなく農工商などの民も分け隔てなく共に楽しむ場所として、南湖公園を築造し、のんびり楽しむためには、世の中が平和でなければならない(太平無事)と考えました。南湖公園に込めた松平定信公の思いをともに学びましょう。



©しらかわん

第2～5回は南湖公園にて  
現地学習となります。